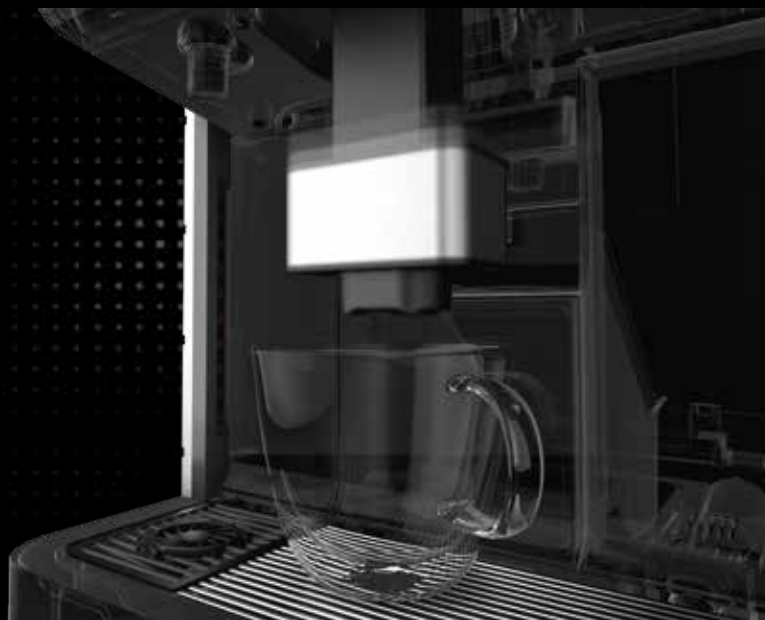




WMFカップセンサー



AIを活用したカップ検知による、 スマートなコーヒーサービス

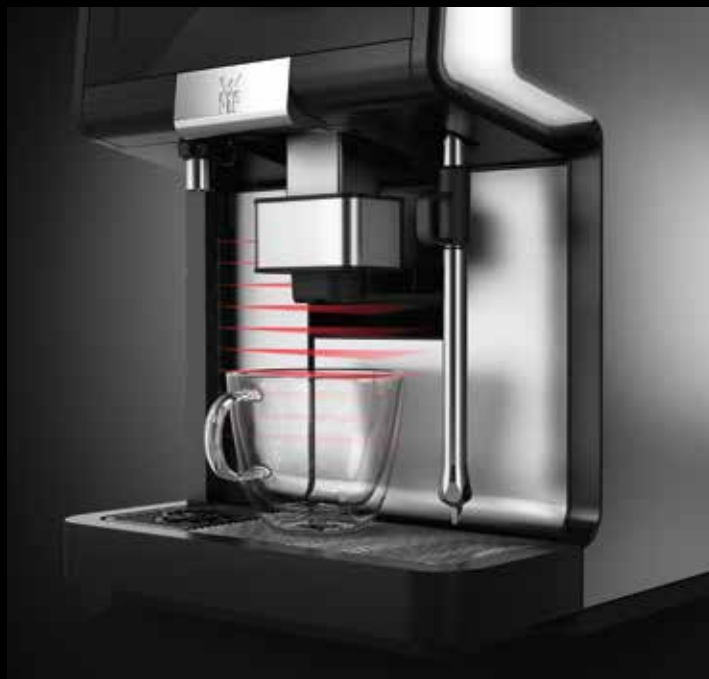
あらゆるカップに合わせて自動調整する、実にスマートなコーヒーマシン。WMF 5000 S+ および、WMF 1500 S+ のオプションで取り付けられるカップセンサーは、ドリフトレイに置かれたカップを検知して、自動抽出口をカップ上部の適切な距離に、正確に移動させます。このマシンは使用されるカップに合わせて特定の飲料またはサイズを事前に選択できるので、手動で選ぶ手間を省け、飲料が溢れるリスクを抑えられます。お客様にはスムーズなサービスを満喫していただけます。導入することで、運用効率を最大限発揮できるでしょう。

DESIGNED TO PERFORM

wmf.com

カップセンサーの仕組み

ニーズに応じて、動作モードを切り替えてこの高度な機能をご利用いただけます。1番目のモードでは、カップが定位置にあることをセンサーが検知しない限り、選択された飲料は提供されません。セルフサービス形式の会場などで非常に便利です。2番目のモードでは、マシンがカップを検知したら、自動的に抽出口をカップ上部の最適な距離に調節します。オフィスなど、サイズの異なるカップに飲料を入れるような場所に最適です。3番目のモードでは、センサーが使用カップの高さを認識し、カップのサイズに応じた飲料のみをパネルのメニューに表示します。このモードでは、レシピごとに抽出口が自動的にあらかじめ設定された高さに移動するので、時間と手間を省けます。



対応マシン:



WMF 5000 S+

WMF 1500 S+ *

カップセンサーのメリット:

- **カップ設置時のみ供給:** カップが置かれない限り飲料は供給されないため、食材の浪費と清掃の手間を減らせます。
- **自動飲料選択:** 使用されるカップに合わせて自動的に最適な飲料のタイプが選ばれるので、非常に使いやすいのも特長です。
- **カップの自動検出:** センサーがカップのサイズを自動で検知するので、飲料が溢れるリスクを抑えられます。
- **衝突制御:** センサーがカップと抽出口の破損を保護し、安定した飲料品質を保証します。
- **理想的な飲料温度保持:** すべての飲料は、抽出口からカップまで出来る限り至近距離で抽出されるため、冷めることなく最適な温度で提供されます。
- **清掃の手間の削減:** センサーによって、抽出口からカップまでの距離をできる限り近くに最適化しているため、飲料の飛び散りが少なく、清掃の回数が少なくて済みます。

* ダイナミックミルクシステム、またはセルフサービスパッケージを備えたWMF 1500 S+にのみ、対応しています。

カップセンサー技術の
詳細はこちら

